



# 南九州市

## 議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—

第39号

平成29年  
8月4日



お田植え祭りで披露された棒踊り（川辺町宮 飯倉神社）

### 【目次】

6月補正予算	..... P 2	傍聴席から・議会体験	..... P 12
条例・請願・陳情・人事案件	..... P 4	議会全員協議会	..... P 13
一般質問	..... P 5	活かせ提言！閉会中の所管事務調査	..... P 14
全国市議会議長会表彰	..... P11	市民の声	..... P 16

# まちづくり事業費

## 一般会計補正額 6537万円

# などを補正

## 補正後予算総額 203億6337万円

# 6月定例会

### 民生費

#### 施設整備補助事業費

347万円  
既存介護施設へのスプリンクラー設備の整備に対する補助。

**問** スプリンクラー整備の内容は。  
**答** 既存の民家を改修して開設した有料老人ホームに新たに整備するもの。

### 農林水産業費

#### 知覧茶ブランド力向上対策事業費

480万円  
知覧茶の販路拡大を図るため、英語・フランス語に対応したウェブサイト開設に要する経費を事業主体の南九州市茶業振興会へ助成するもの。



宮塘池

### 商工費

#### 観光振興費

275万円  
大河ドラマ「西郷どん」ロケに伴う実行委員会への補助金。

**委員会から**  
ロケの効果で、観光客が増加することが予想されることから、トイレ等のバリアフリー化など施設整備の検討を。



知覧武家屋敷庭園群

### 総務費

#### まちづくり事業費

1350万円  
総務省などが、地域コミュニティ組織やNPO法人が行う自主的地域づくりの活動に対し、採択した団体へ助成するもの。

**問** 集落ネットワーク圏形成支援事業費の具体的な内容は。  
**答** NPO法人顕娃おこそ会が行う空き家の再生を通じた創業支援プロジェクトへの助成である。

### 一般管理費（一般経費）

84万円  
市内3か所で開催する市政懇談会時の託児所設置に要する経費など。



おこそ会の空き家再生

### 一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、まちづくり事業費や知覧茶ブランド力向上対策事業費など6537万円を増額し、補正後の予算総額は203億6337万円となりました。

6月定例会は、6月20日から30日までの11日間の会期で開催され、一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正など原案とおり可決されました。  
また、請願1件、陳情1件を採択しました。

### 団体等調査設計事業費

330万円  
市内18か所ある農業用ため池のうち、決壊した際、人家等に被害が予想される4か所においてハザードマップを作成するもので、今回は、高田地区宮塘池1か所のハザードマップ作成委託料。

**問** 4か所の選定は市が判断したのか。  
**答** 県が調査に基づき判断し、市に指示があった。

### 知覧武家屋敷庭園群にきわい創出事業費

673万円  
地方創生推進交付金事業に採択されたもので、外部の視点からの提案をもらい、武家屋敷地区の活性化を図るもの。

**問** 具体的な内容は。  
**答** 観光用アプリ「マるりんちゃん」にアンケート機能を追加する事業、大学生の視点から提案等をもらう事業「スタンプラリー」やお試し居住など体験型観光を創出する事業の3つを予定している。

### 災害復旧費

#### 農地等災害復旧費

515万円  
5月の豪雨により被災した農業用施設の災害復旧を行うもの。

**問** 昨年の台風で被災した箇所が再び被災したのか。  
**答** 昨年の台風により復旧施工したが、地山との取り付け部分が再び被災した。

**委員会から**  
こうした事例が散見されることから、施工等について工夫出来ないか検討するよう望む。

### ふるさと寄附金事業費

161万円  
ふるさと寄附金に係る一括管理システムの導入等に要する経費。

**問** 市政懇談会の対象者、開催場所及び設置する託児所の保育士の人数は。  
**答** 女性及び概ね40歳未満の若者が対象で、各保健センターで開催する。託児所には、保育士3人ずつを配置する予定である。

**問** 一括管理システムの内容と市の知名度を高める取組みについて説明を。  
**答** これまでふるさと納税に関する事務は、2業者に全面的に委託していたため、返礼品等の情報を一括管理することが難しかった。導入することで、寄附者に対する案内や出品事業者等の対応状況を把握することが可能になる。

また、市の知名度を高めるため、ロゴやデザインを使った商品開発に力をいれたい。

### 消防費

#### 災害対策費（一般経費）

2640万円  
顕娃長崎地区の散策道を兼ねた遊歩道の整備と自主防災育成事業に採択された瀬上自主防災会への助成に要する経費。

**問** 育成助成事業の対象となった設備は。  
**答** ホース格納庫5基、ホース20本等を目的管内の消火栓5か所に整備するもの。



顕娃長崎地区の遊歩道



### 音声ガイドの内容を精査・検討する考えは

市長／考えはない



知恵子 内閣 議員

はないことから、精査・検討する考えはない。

### 出生率向上の施策は

市長／環境づくりに努める



知覧特攻記念会館の音声ガイド

内閣 知覧特攻平和会館は、「平和情報を発信し、世界恒久平和に寄与することとしている。」

しかし、音声ガイドでこの戦争の狙いの表現について来場者から指摘を受け入れた。世界中の人に受け入れられるよう内容を精査・検討する考えはないか。

市長 音声ガイドの内容は、隊員の手紙に残されている表現を使用し、当時の状況を紹介するもので、知覧特攻平和会館の歴史観を表すもので

人口減のみの影響にとどまらず出生数の減少により、将来の人口に影響を与えることとなる。

このまま推移すると日72年には、現在の人口の半分以上となると考えられる。

合計特殊出生率を上げるため、市はどんな施策を進めていくつもりか。

市長 結婚・出産・子育てに切れ目のない支援を行う。若い世代が安心して家庭をもち、子育てできる環境づくりに努める。

### どのように整備していく考えか

市長／消防組合と検討協議を進めていきたい



吉永 賢三 議員

による倒壊等を考慮し、順次建て替えを行っている。川辺分遣所も消防組合と検討を重ね、地理的要因等を考慮し、整備について協議を進めていきたい。

吉永 いつ頃までに整備する計画で協議をする

考えか。

市長 財政も厳しいので、いつまでには回答できない。

吉永 市民から建物の老朽化に伴う整備計画を問われる。

活用できる補助金等や建設候補地など、市で検討を進め、早急に消防組合と協議をすべきではないか。

防災安全課長 消防組合と早めに協議できるように検討をする。

川辺分遣所

吉永 川辺分遣所は、老朽化が進んでいる。市はこのことをどのようにとらえ、今後の整備についてどのように考えるか。

市長 S49年に建築され、56年に改正された新耐震基準に基づいた設計はされていない。

消防庁舎は、災害時の拠点となるべき施設であり、住民の生命財産を守る大きな使命を果たさなければならぬ。

H25年に発足した指宿南九州消防組合は、地震



### 下限面積引下げの考えは

農業委員会会長／支障をきたさない範囲で検討する



西 次雄 議員

農業委員会会長／支障をきたさない範囲で検討する

市長 南さつま市は、空き家と農地を一緒に取得する場合に下限面積を20㎡としているか。

農委事務局長

西 農地法改正で、地域の实情に応じて農地取得の下限面積を引下げることが可能となっている。

耕作放棄地の解消や空き家と一体となった農地取得等で移住定住を促進するために農地取得の下限面積を引き下げる考えはないか。

農委会長 他市の状況等を調査し、農用地の利用の促進に支障をきたさない範囲で検討したい。

西 近隣市の下限面積引下げの状況はどのよう



県道沿いの耕作していない農地

西 下限面積引下げについて市長の考えを問う。

市長 農用地等の優良農地は担い手等に利用していただき、その他の農地取得については、下限面積を引下げることが良い事で、今後、農業委員会とも協議していきたい。

### その他の質問

・空家対策について

### 今後の運営の方向性は

市長／検討委員会の結果を踏まえて方向性を決定する



伊瀬知 正人 議員

方向性を示す。

伊瀬知 公社の経営改善を図りつつ、早い段階で指定管理者を公募すべきと考え、市の考えは。

市長 公社では、29年度から焼き肉レストランや売店等の管理を自主事業として行っている。30年度以降は、ミニゴルフ場も自主事業として管理する予定である。

32年度以降、あり方検討委員会の検討結果を踏まえつつ、指定管理者の公募を検討したい。

伊瀬知 アグリランドえいの管理運営は、(株)顕娃娃観光開発公社(以下、公社)が行っており現在の管理期間はH32年3月までとなっている。

今後については検討委員会を設置する必要があると考えるが、32年度以降の管理運営について考えを問う。

市長 アグリランドえいのあり方検討委員会を設置し、29年度中に4回程度の委員会開催を予定している。委員会において今後の



アグリランドえい

知覧平和公園

管理運営の現状と今後の対応について

市長／適正な維持管理に努める



議員 菊永 忠行

今後は、芝生の養生期間を設け、適正な維持管理に努める。

【菊永】 自由広場は、市民が自由に利用できるように開放していると思うが、グラウンドゴルフなどで占用している例がある。利用方法に問題がある

と思うが、対応を問う。【市長】 自由広場は、使用料が発生せず自由に使えることから他の利用者が不便を感じたりする事例があり、近々競技団体と協議する予定である。競技的なものは有料施設を使用していただきたい。

【菊永】 有料施設を使用する場合には健康づくりの観点から減免措置などを講じる考えはないか。【市長】 減免については現行の制度を活用していただきたい。



知覧平和公園自由広場

【菊永】 ゲートボール場の芝生について、H28年度改修後の状態を見ると整備前より生育状況がよくないと思うが、現状と今後の対策を問う。

【市長】 芝生管理については、通常の芝刈りや除草剤散布作業とは別に、芝生のエアレーション（通気）、施肥作業による維持補修業務委託を実施している。

しかし、雨の影響で病気が入り、芝枯れが発生した。殺菌剤散布と施肥を実施し、対応している。

地域おこし協力隊

川辺仏壇産業の活性化へ繋げる考えは

市長／新しい事業展開などが図られる



議員 大久保 太智

【出生祝記念命名プレートの発案を】 市長／現在の制度を維持

【大久保】 子どもの誕生に仏壇技術を活かした命名プレートを寄与するアイデアはとても素晴らしい。本市にとって子ども達はこれからの宝でもある。一生一代の物なので、予算を増やす考えはないか。

【市長】 当面の間は、現在の制度で予算でいきいたい。

【公共施設の有効利用について】 教育長／方策はないか検討する

【大久保】 川辺地区公民館は、対象世帯に対して狭いことから同敷地内にある川辺保健センターの有効利用は図れないか。【教育長】 予約の空き状況、業務に支障がない場合、利用は可能である。

【その他の質問】 ・新規職員採用の地域バリエーション

【大久保】 地域おこし協力隊を仏壇産業に導入し、関係人口を築き情報発信やよそ者、若者による新しい風を入れ、商品開発や販路拡大に繋げる考えはないか。

【市長】 ある一定の知識を有する人材を活用することにより、既存事業を多角的に見る事ができ、新しい事業展開などが図られるものと考えている。この制度の導入に当たってはどのような役割を担ってもらおうかなど、仏壇協同組合と検討する。



出生祝記念命名プレート(サンプル)

図書館運営

指定管理者制度導入の目的は

教育長／民間活力によるサービス展開と経費削減を目的とする



議員 日置 友幸

【日置】 市長の考える市政の重点分野は何か。

【教育長】 結論ありきの議論とは考えていない。

【市長】 指定管理者制度について迅速な面があったと思う。

【日置】 図書館など社会教育施設に対する市の考え方を明確にすることが必要ではないか。

【市長】 教育委員会と協議し、市民にも早く報告

【日置】 図書館の指定管理者制度導入の目的を問う。

【教育長】 民間の活力を發揮させることにより、これまで以上のサービス展開が期待できる。また、経費削減が見込まれる。

【日置】 H30年4月導入予定か導入を検討か。

【市長】 30年4月が目標だが、早急に決めなくても良いと考える。

【日置】 議会や図書館協議会に対し、指定管理者導入について情報を伝えるのが遅く、情報の出し方

も結論ありきではないか。

【教育長】 結論ありきの議論とは考えていない。

【市長】 指定管理者制度について迅速な面があったと思う。

【日置】 図書館など社会教育施設に対する市の考え方を明確にすることが必要ではないか。

【市長】 教育委員会と協議し、市民にも早く報告



ひまわり館図書室

第2次総合計画

重点施策は

市長／農業 観光などに重点を定める



議員 大倉野 忠浩

【大倉野】 まちづくりの課題としてあげている農業の担い手不足の解消について、農業後継者及び集落営農組織の育成、確保の現状と今後の展開は。

【大倉野】 第二次総合計画はどのような施策に重点を置いて策定する考えか。

【市長】 市民の意見を十分に反映させるため、市民会議を始め、総合計画の施策募集、パブリックコメント等で広く市民の声を聞きながら、本市の特性である、農業、観光の分野は延ばし子育て、教育、福祉地域づくりの分野はより充実させていく。

をずる形をとりたい。

【重点分野を踏まえた財源枠の設定を】 市長／課題を検証し、予算編成を進める

【日置】 市長の考える市政の重点分野は何か。

【市長】 農業、観光、子育てであり、推進には行革が必要だ。

【日置】 失敗を恐れず挑戦することを大切にし、重点分野に対して積極的な新規事業の提案を。

【市長】 メリハリが必要だ。課題を検証し、効率的な予算を編成する。さまざまな提案を活かして新規事業を展開したい。

【市長】 本市には県内多数の認定農業者や集落営農組織、農業法人があるが、担い手農家の減少は否めない。解消策として、後継者、新規参入者への支援、集落営農組織の育成、強化支援等を担い手育成総合協議会で実施している。

【第二次総合計画においても、重要課題として盛り込み、現行の制度を最大限活用し、積極的に取り組む。



第1次南九州市総合計画

## 改正教育基本法 新学習指導要領 領土教育、市内高校の方向性への 見解を問う



**議員**  
濱田 茂久  
が特色ある教育課程の  
実施に対して引き続き支  
援する。

**浜田** 改正教育基本法  
で地域社会での教育力の  
強化が掲げられている。  
また、新学習指導要領  
で領土の正しい認識、高  
等学校における地域の特  
徴を活かした学校づくり  
の可能性等が明記される  
が見解を問う。  
**市長** 本市の子ども達  
が自立して活躍できる社  
会を目指した施策を推進  
する。将来を担う子ども  
達が領土に対する正しい  
理解を得られる教育が必  
要であり、高等学校にあ  
つては地域活性化に繋

## 市道・県道の維持管理 について見解を問う



路面が劣化している県道（写真は県道石垣吾入線）

**浜田** 路面劣化をはじめ、  
交通の障害となる道  
路状況により騒音、振動  
被害、事故誘発等が考  
えられる。災害を回避し、  
市民の安全・安心の道路の  
維持管理に心を問う。  
**市長** 市道の維持管理  
については草刈り、路面  
補修、土砂除去等は作業  
班あるいは業者委託で、  
適正管理に努めている。  
県道においての軽微な  
作業や補修等は県の担当  
課に対処要請を、規模の  
大きな案件については速  
やかな要請にあわせ、要  
望調書の提出は、期成会  
等の各種会合で要望を  
行っている。

## 市営住宅 建て替え計画を示せ



**議員**  
加治佐 民生  
要を見ながら検討した  
い。

**加治佐** 老朽化してい  
る市営住宅の建て替え計  
画を示せ。  
**市長** 老朽化した市営  
住宅の建て替えについて  
は、牧之内団地や青戸団  
地等の5団地を計画して  
いる。  
現在は、牧之内団地の  
建て替えに向けて住民説  
明会等を実施し、住民の  
移転を行いながら来年度  
着工に向けて準備を行っ  
ている。  
それ以外の建て替え計  
画については本市や国の  
財政状況や市営住宅の需

## 屋外広告物の取り扱い について



建て替えが計画されている牧之内団地

から権限移譲されている  
屋外広告物の取り扱いに  
ついて、現状と課題、今後  
の対応を示せ。  
**市長** 看板などを対象  
に県屋外広告物条例によ  
り規制を行っている。  
県から権限移譲され、  
対象となるものについて  
は、申請手数料納付をお  
願いしているが、制度の  
趣旨の理解が得られてい  
ないため、未申請広告物  
が見受けられる。  
屋外広告物申請への周  
知・啓発の強化を図った  
い。

**加治佐** 合併前より県

## 市長の退職手当 廃止する考えはないか



**議員**  
大倉野 由美子  
所の毎日の給食提供につ  
いて財政的措置の強化を  
行う考えはないか問う。  
**市長** 他事業所と同様  
の事業運営であり、支援  
の考えはない。  
**大倉野** 指宿市と協議  
を重ね、前向きな打開策  
を望む。具体的対応を問  
う。

**大倉野** 市長、副市長  
教育長は、一期4年ごと  
に退職手当を支給され  
る。曾於市長は、退職手  
当をゼロとした。市長は、退  
職手当を廃止する考えは  
ないか。

**市長** 市町村の退職手  
当は、その職責に応じて  
支給されており、本市に  
おいて、廃止する考えは  
ない。

## 発達支援事業所 「さつき園」へ支援を 市長／協議する



移動図書館

少め協議をする。  
**移動図書館の増便を**  
教育長／限られた予算  
内で実行する

**大倉野** 運行回数が減  
少した移動図書館につい  
て、住民が要望する地区  
公民館など、これまで同  
様の運行に異なす考えはな  
いか。  
**教育長** 移動図書館は  
近隣市にない誇れる事業  
で、限られた予算内で運  
行する。

**その他の質問**  
・第一児童館の備品設備  
・学校給食の無償化  
・若者定住  
・国保財政の運営

## 全国市議会議長会表彰

平成29年5月24日、東京で開催された第93回全国市議会議長会  
定期総会において、長年の議員活動を通して、地方自治の発展と市  
政の振興に貢献した功勞に対して表彰がありました。

  
**(15年表彰)**  
 松久保 正毅 議員

  
**(10年表彰)**  
 山下 つきみ 議員

  
**(10年表彰)**  
 蔵元 慎一 議員

  
**(10年表彰)**  
 加治佐 民生 議員

# 議会全員協議会

## ◆行政当局より議会へ説明のあった件◆

- ◎南九州市庁舎建設等市民検討委員会の設置について
- ◎市立図書館の指定管理者制度について

### 南九州市庁舎建設等市民検討委員会の設置

市では、平成24年度に実施した「南九州市庁舎在り方市民検討会」での提言を受け、市民目線による総合的な観点から、今後の庁舎建設などの検討を行う庁舎建設等市民検討委員会を設置する。

市民の幅広い意見を反映させるため、委員会は、地域バランスを考慮し、女性団体や商工会、次世代層の青年農業者クラブ、市PTA連絡協議会、公募2人の総勢16名以内の構成となる予定。開催数は5回程度、新庁舎の建設位置その他建設位置に係る事項について検討する。

### 新庁舎建設に向けたスケジュール案

平成29年度 ～30年度	<b>建設位置等の検討</b> ○庁舎建設市民検討委員会を設置し、新庁舎の候補地を絞り込む。 ○パブリックコメントを実施し市民の意見を求める。 <b>建設位置の決定</b> ○検討委員会の意見をもとに議会に意見を求める。 ○市民に報告（ホームページ・情報誌等）
平成31年度 ～34年度	<b>建設の規模、デザイン等の内容の検討</b> (行政組織再編、支所機能の統合等を進めていく。)
平成35年度	<b>基本計画策定</b>
平成36年度	<b>基本設計、事業認定、用地取得、実施設計</b>
平成37年度	<b>造成工事・建築確認</b>
平成38年度 ～39年度	新庁舎（本体）建設工事開始
平成40年度	新庁舎完成 竣工、共用開始

### 市立図書館の指定管理者制度

平成26年に行政改革推進本部議会で指定管理者制度導入について積極的な検討を行うべきとの意見があり、平成27年行政改革推進本部議会で指定管理者制度の方向性が示された。

県内上位の貸出冊数の実績、実力を指定管理者者に引継ぐとともに、民間の活力と人材の効果的運用で実績が積み上げられ、更なるサービス向上につなげる。

大手の図書販売会社などによる指定管理が導入された場合、図書・雑誌の購入等で地元への影響が予想されることから、市内にNPO法人等が立ち上がった場合は、南九州市内の業者・団体での公募による選定を検討していく必要がある。

市内NPO法人等による応募がない場合は、大手図書販売会社なども視野に入れて検討する。

### 全員協議会での質問

- (問) 制度導入に当たって今後十分な協議をし、平成31年度以降とする考えはないか。  
(答) 平成30年4月導入という目安はあるが、今後協議を重ね、導入の時期や導入にあたっての仕様書などについては検討したい。

\* 1 指定管理者制度とは  
それまで地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に代行させることができる制度。



## ～議会を体験～

6月15日に松山小学校3年生19人と松ヶ浦小学校3年生3人が、校外学習で議会を体験しました。  
議場でそれぞれ議員席に座った児童は、手を挙げて市役所の仕事について質問しました。



松山小と松ヶ浦小の3年生22人が議会を体験

## 傍聴席から

6月定例会において、松山地区30名の方々が傍聴されました。

松山地区 文化産業部長 若松 雄二

先日6月21日に議会を傍聴させていただきました。

入口で一般質問通告書を一覧表をもらい、質問事項

項及び質問の要旨を読みながら議会を見ました。質問は、市民の生活等に重点を置いたものでした。質疑答弁も真剣な議論が行われていました。今後市民目線の問題解消に期待します。



## 議会を傍聴してみませんか

次の議会は  
**8月31日(木) 開会予定**

\*手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

### 9月定例会

8月31日	本会議（開会）	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
9月1日	本会議	一般質問
4日	本会議	一般質問
5日	常任委員会	補正予算等審査
12日	本会議	補正予算等採決、決算認定の委員会付託
13日	決算特別委員会	決算認定審査
14日	決算特別委員会	決算認定審査
15日	決算特別委員会	決算認定審査
19日	決算特別委員会	決算認定審査
29日	本会議（閉会）	決算認定採決

◆議会中継◆ インターネット配信または各庁舎ロビーでご覧いただけます。

# 活かせ提言!

## 閉会中の所管事務調査

総務常任委員会 … 地域おこし協力隊の取り組みについて  
 文教厚生常任委員会 … 子育て支援の取り組みについて  
 産業建設常任委員会 … 体験型観光の取り組みについて

### 地域おこし協力隊の よそ者視点で地域活性化を

総務常任委員会

地域おこし協力隊の制度は、地方公共団体が「地域おこし協力隊」として委嘱する制度で、若者や都市部の人を対象に委嘱し、若者、よそ者視点で地域活性化に取り組むので、隊員は一定期間(2〜3年)地域に移住して地域ブランドや地場産品



の開発、販売、PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの活動を行いつながり、その地域への定住・定着を図る取り組みで、H21年度から制度が導入されている。  
 現在、本市では、H28年11月に1人、29年2月に1人、さらに29年4月に1人採用しており、2人はNPO法人顕娃おこそ会に派遣し、空き家を再生した交流拠点づくりに取り組み、1人は29年4月から市役所の移住定住相談窓口の特定非常勤職員としてふるさとと振興室に勤務している。  
 このような状況

を踏まえ、総務常任委員会は、5月17日から19日にかけて、岡山県新見市と美作市において調査を実施した。  
 新見市は、人口減少や高齢化等により、地域事業や農林水産業等の担い手となる人材確保が難しく、26年2月からこれまで19人の隊員が着任し、第1期の協力隊は4地域を対象として地域振興に、第2期は伝統工芸に特化した技術の隊員を、第3期は園芸振興、林業振興、畜産振興等に特化して採用していた。現在、第1期の隊員2人がアマゴの養殖、ワイン用ブドウの栽培、商品開発に取り組み、定住に繋がっているとのことである。  
 美作市は、全国でもいち早く協力隊制度を導入し、これまで延べ29人の隊員を採用し、任期終了した隊員17人のうち9人が定住しており、非常に高い定住率となっている。隊員3人と定住した4人の集落

では、荒地の開墾、野焼きが行われ、集落の人口1555人を10年後に3000人に倍増させ、約8300枚、100町歩の畑田再生を目標に取り組んでいる。  
 これらの調査を踏まえ、次の3点を提言する。

### 提言

- (1) 市民に地域おこし協力隊制度の周知を図り、地域から要望を募ったうえで、地域の課題にあった人材を募集すること。
- (2) 協力隊員の活動については、任期終了後の定住につながることを理想ではあるが、定住率にこだわりすぎず自由な発想や裁量も大事にすること。
- (3) 地域との課題解決のミスマッチができるだけないように、協力隊員の採用の前に、一定期間の体験ができるプログラムの構築を図ること。

### 子育て世代包括支援センター 制度の導入を

文教厚生常任委員会

子育て支援については、子ども・子育て関連3法

の制定により、H27年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートし、市町村は子ども・子育て支援事業計画に従って事業を実施することになった。国から、地域子育て拠点事業など13事業が示されている。本市はできるものから取り組み、補助率の高い事業から積

極的に取り組みたいとのことで、現在、6事業の実態に合わせながら、できる範囲で取り組んでいることである。また、子育て世代包括支援センターの取り組みについては、関係課、関係者と連携をとり、取り組みたいとのことである。  
 このような状況を踏まえ、5月25日から26日にかけて、広島県東広島市、岡山県総社市を調査した。(東広島市)  
 ○子育てするなら東広島市の「キッズフレース」を掲げ、学生や地域を巻き込み、子育て支援情報を発信する「子ども未来フェスタ」を実施  
 ○子育て世代包括支援センター設置(H28年4月)

○子育て王国そうじやをキッズフレースに掲げ、市市民団体、NPO法人などが子育て支援に取り組む。  
 ○子育て世代包括支援センター設置(H28年8月)

### 提言

- (1) ホームページ、SNSなどインターネット上の交流を目的としたサービスを活用するなど、子育て支援に関する情報発信の充実・強化に努めること。
- (2) 子育て支援のため、小中学生、大学生など若者の発想・意見を取り入れ、施策に反映させるよう努めること。
- (3) 子育て世代包括支援センター制度を導入し、妊娠前から義務教育終了までの担当を同じフロアに集約し、ワンストップで相談できるよう、窓口のワンフロア化に努めること。

### 体験型観光の推進に 積極的な投資を

産業建設常任委員会

体験型観光の推進は、総合計画後期基本計画において、市の主要施策として位置づけられている。本市の民泊型旅行教育の受入先については、H29年2月現在では、計4世帯である。この4世帯は、すべてが一度に受け入れられるだけでなく、大規模受入が困難である。受

入家庭の本業との調整、温泉や工芸体験など費用負担が伴うことなどが課題である。また、受け入れに際し、特色ある体験メニューの創設も課題である。

このような状況を踏まえ、5月10日から12日にかけて、長崎県波佐見町及び南島原市の調査を行った。

○まちづくりアクションプランをつくり、町内に潜在する素材を観光商品化し、年間を通じた体験プログラムを提供する取り組みが行われている。  
 ○観光協会を中心に、グリーンクラフトツクリズムに特化した協議会が組織されており、人的ネットワークが確立されている。

(南島原市)  
 ○受入世帯について、年次的に計画を策定し、体験モニターやおもてなし講座などの啓発を行っている。  
 ○体験型民宿を始めようとする家の内装改修に対し、市単独で補助をしている。

### 提言

- (1) 体験型観光の推進に官民一体となつて取り組むことが重要であり、市民意識の高揚を図るとともに、効果的な投資や人的支援など市の積極的な取り組みを求める。
- (2) 体験型観光を推進していく上で、人的ネットワークの確立が重要であると考えことから、地域のさまざまな情報を共有できる団体等を加えた新たな推進体制を構築すること。
- (3) 受入家庭の育成、確保のため、内装改修費補助など支援策を検討すること。



# 市民の声



額娃町別府

堀井 愛美

私は、宮崎から南九州市額娃町に移住して、社会福祉法人大川福祉会特別養護老人ホームビハラで介護職として働いています。

高齢者の方と関わるのが好きで、ホームページで施設や周りの様子を見て、「ここで働いてみていいのかな」と思い、実際に訪れてみて、南九州市に住むことを決めました。働いてみて、初めは利用者の方が話す額娃弁が分からず、うまくコミュニケーションがとれずに苦勞しました。しかし、近所の方や職場の先輩方から教えてもらったりして少しずつ慣れてきま

した。介護の仕事は、大変ですがとてもやりがいのある仕事です。毎日、あわただしく過ごしています。が、ビハラは介護職の平均年齢が二十三歳と若い人が多い職場なので、楽しく働くことができている。

南九州市に住むと決めた時、市のホームページの「空き家バンク」で住むところを探しました。住んでみて、近所の方々も優しく、環境も良くて、住みやすいところだなと思っています。今後は、さらに若者や子育て世代が住みやすい町にしてみたいと思います。また、福祉についてもさらに充実してもらえたらと思います。それから嬉しいです。そして、もつと多くの方に南九州市の魅力について知ってもらえたらと思います。

これからも近所の方や職場の先輩方とこの南九州市で楽しく元気に過ごせたらなと思います。



川辺町下山田

古市 豊

## 空き家対策について

世帯数の減少や高齢化に伴い、今後も空き家の増加は避けられない。そうなる则防炎、防犯、衛生、景観等で悪影響を及ぼす恐れがある。私の住んでいる自治会も空き家が増えてきているが、他の地区でも危惧していることと思う。

空き家を活用できないか悩んでいるところだが、空き家を活用しようとしても、所有者が県外居住であることや家財道具や仏壇が家の中にあると処分できないなどの理由で話し合い

が前に進まないのが実情である。ある自治体は、賃貸住宅、集会所などに用途を変え、地域の活性化に繋げている。

南九州市の取り組みは、昨年8月に開催された市長との懇談会において、「空き家の調査を終え、アンケートを出す予定。また、空き家対策の基本計画を作成する。」とのことであった。平成27年に「空家対策特別措置法」が施行された。それにより、所有者の管理責任が問われるので、所有者も今までのように放置しておれなくなつた。

自治会と所有者そして市（サポート支援を含む）で話し合いの場を設けることで、すぐに打開策は出ないかもしれないが、何らかの方向性が見えれば、少しでも地域の活性化に繋がるのではないかと思う。

## 九州北部豪雨で被災された皆様へ

豪雨により被災されました皆様へ心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

南九州市議会

## 編集後記

6月27日に故郷川辺会の総会が開催され多くの方が参加し、総会に続く懇親会も大いに盛り上がりました。

故郷川辺会は、会員100名近く、関東や関西、鹿児島川辺会と協力して桜の植樹や草刈り、肥料やり、ホタルの増殖、岩屋橋等の清掃、EM菌ダンゴを使ったプールや河川の浄化等の活動にも取り組んでいます。

また、関東、関西、鹿児島川辺会との交流を通じて地域活性化に努めています。

市内各地域で地域活性化の取り組みが活発に行われることを期待します。

(西)

## ▼広報編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 西 次雄   |
| 副委員長 | 鮫島 信行  |
| 委員   | 日置 友幸  |
|      | 大久保 太智 |
|      | 浜田 茂久  |
|      | 満留 秀昭  |



◎発行：鹿児島県南九州市議会  
TEL 0993(83)2511

◎編集：議会広報編集委員会  
FAX 0993(83)4658

◎発行責任者：蔵元 慎一

ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>